



未来に響く文化の鼓動

札幌文団協

札幌文化

団体協議会

第73号

ニュース

- 札幌文団協の目的
札幌における各文化団体の連絡協調をはかり、文化の発展をめざします
- 札幌市民憲章 5章
世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう



▲2025さっぽろ菊まつり

なぜ文化は重要なのか？

札幌文化団体協議会

会長 下沢敏也



まず「文化とは？」で検索してみると、『人間が社会の構成員として獲得する、行動・生活様式の総体。』と定義されています。文化の概念は、集団内で伝播されるものに対してのみ用いられ、個人が発明しただけの状態では適用されません。

文化には、社会組織(世代、地域、血縁組織などを含む)で生きる私たち全員が関わっています。何故なら組織の成員になるということは、その文化を身につける(身体化)ということでもあるからです。また、人は同時に複数の組織に所属することが可能であり、異なる組織に共通する文化が存在することもあります。文化を通して人は育ち、多様に発展していくと言えるのではないのでしょうか。

文化を高尚で難解なものと思っている人も少なくありません。しかし文化は日常の行動や言語、ファッションにまで浸透しており、誰もが無自覚に作り手であり担い手です。古くは、世の中が開け生活が快適になることも表し、語の上に付いて(文化住宅、文化なべ、文化包丁など)ハイカラ・便利・新式などの意味を持ちました。生活に文化という視点を取り入れると、新たな発見が生まれます。例えば毎日の食事を「食文化」と捉え直すだけで、郷土料理や調味料を知る意欲が湧きます。「地元の祭りに参加する」「工芸や芸能のワークショップに行く」といった体験は、五感を通して文化を体感できるため、単なる知識を超えた深い理解につながります。

特定の芸術だけが文化なのではなく、自分と異なる文化的背景を持つ人と対話し、多様な視点を体験的に学ぶことで、コミュニケーションが生まれます。要約すると、文化の重要性とは「一人(個)ではなく、みんなと一緒に(社会)」につくることと考えます。

私たち文団協は、様々な文化分野の大きな集合体です。互いの文化を知ること、自身の世界観を探索し、より充実した人生へと繋げることができないのではないのでしょうか。文化に対する価値を改めて認識し、ひとを思いやる心を育てたいものです。これからも新しい文化との出会いを楽しみ、世界を広げていきましょう。

第54回 ぶんだんきょうフェスティバル

今年は8月に展示・いけ花・お茶席部門、10月に舞台部門を開催しました。
SCARTS全館での熱い夏展示と、秋のカナモトホールを彩った舞台作品の数々を写真(抜粋)で振り返ります。

展示部門

8月8日(金)～10日(日)

札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市民交流プラザ内)

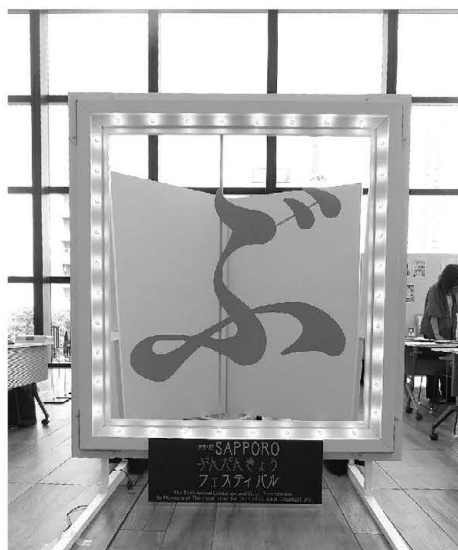
1階コート(展示)、モールA・B(いけ花・展示)、

2階スタジオ1・2(お茶席)、モールC(体験教室ほか)

入場者数 延べ2,945人



【芸術選賞・展示】札幌川柳社



次回、第55回SAPPORO
ぶんだんきょうフェスティバルは、

展示部門

◆展示・いけ花・お茶席 令和8年8月7日(金)～9日(日)

札幌文化芸術交流センター SCARTS

舞台部門 (2公演)

10月4日(土)夜(洋の部)、5日(日)昼(和の部)

カナモトホール

入場者数 1,013人



【芸術選賞・洋の部】(一財)縄文芸術文化財団



【芸術選賞・和の部】叶 千花(個人会員)



下記の日程および会場で
開催いたします。

舞台部門

◆洋舞

令和8年9月5日(土)昼・和の部・夜・洋の部

札幌市教育文化会館・大ホール

令和
7年度

札幌文化団体協議会文化賞各賞決定

【文化賞】

西川 華緒貴（邦舞）

生年月日／昭和23年6月27日

主な業績／小・中学生時代帯広市にて日本舞踊の基礎を学び、札幌転居後の平成4年西川流華之人会に入門。平成19年西川流名取・21年師範職を修得。平成23年華緒貴会を創設。西川流家元により発足の西川流北海道支部西北会に所属。西川鯉之人師・章之人師に師事し、一層の研鑽に励み現在に至る。札幌文団協フェスティバルをはじめ多くの舞台に出演する一方、日本舞踊の伝承者として後進の育成にも力を注いでいる。また平成21年から手稲文化協会の運営に携わり、令和5年度より会長職を務め、事業の活性化を図るなど会の発展に尽力している。令和5年度札幌文団フェスティバル芸術選賞受賞。



【文化賞】

大森 千穂子（いけ花）

生年月日／昭和19年9月9日

主な業績／昭和40年よりフラワーデザイナー伊藤みさお師、草月流いけばな佐々木秋放師に師事、昭和60年に花のグループ「クレアシオン」を立ち上げ、平成8年には花のディスプレイ・プロ養成「大森千穂子フラワーアカデミー」を設立し現在に至る。昭和64年の泡を素材とした造形展「バブル・アート展」など、独創的な視点と感性を活かし、長年にわたり精力的な活動を続け、イタリア・ハワイ・フランス・ロシア等での、国際的な文化交流も多数。平成2年ポーラ化粧品本舗コンペ「今年の夢89」、平成21年第11回草月流いけばなAT賞を受賞。



【文化功労賞】

塩見 宗邑（茶道）

生年月日／昭和9年11月10日

主な業績／六十有余年に亘り、世の平和と健全な社会を願う裏千家歴代家元の精神と茶の湯の理念に則り、（一社）茶道裏千家淡交会札幌第一支部参与・裏千家名誉師範として、北海道、特に札幌における茶道文化の発展に貢献してきた。社会活動として、市民への呈茶や文化団体への組織協力を惜しまず、また学校茶道の確立にも努め、お茶を通じて青少年の人間形成を促す一助を果たしてきた。深い知見のもと、日本の伝統芸術・総合芸術とも言われる茶道を札幌市に根付かせたその功績は多大である。



【文化奨励賞】

真下 百百子（バレエ）

生年月日／昭和47年5月19日

主な業績／3歳より母・真下教子のもとでバレエを始め、久光孝生・尾本安代に師事。平成6年～12年までパリにて各年3か月研修、平成13年～14年には北海道文化財団芸術家海外研修員として渡仏。帰国後は、真下教子バレエ研究所の作品に主演・振付をし、札幌市民芸術祭大賞・奨励賞、札幌文団協フェスティバル芸術選賞等を受賞している。ほかオーケストラとの共演や、札幌の代表的なバレエ公演に参加。現在、（公社）日本バレエ協会北海道支部運営委員として、各事業の事務局任務を遂行し、今後さらなる活躍が期待されている。



2025さっぽろ菊まつり(第63回)文化作品展示

11月1日(土)～3日(月・文化の日)の日程で、チ・カ・ホやオーロラスクエア等の地下街に、香りがたつ菊花が展示された菊まつり。今回は、(公財)道銀文化財団様の共催により「らいらっく・ぎゃらりい」(ほくほく札幌ビル1階)で、菊まつり連携企画として文団協会員の作品展を開催しました。

ギャラリー内に生花は設置できないため、メメント・フローレスー花を想えーと銘打ち「花」をテーマとした抽象美術・工芸・文芸作品等を展示。雨模様の3日間でしたが、地下街直結の至便な会場で、自らの心に咲く「花」との静謐な時間を市民の皆様にお楽しみいただきました。



2025さっぽろライラックまつり(第67回)に参加

昭和34年、「ライラックの花が咲き揃う季節に文化の香り高い行事を行う」という文化人(北海道文団協の会員たち)の呼びかけにより始まったのが、ライラックまつりです。

今年は5月14日(水)～25日(日)の日程で開催されました。大通公園6丁目でのオープニングセレモニーでは、実行委員長として下沢敏也 札幌文化団体協議会会長が開祭宣言し、ライラックの苗木プレゼントには市民が長い行列を作りました。

また、会員による茶道各流派の野だてやいけ花展示のほか、いけ花・書道・粘土細工の各種体験コーナー等も増えて、初夏の爽やかな晴天のもと会場は大いに賑わいました。

その他のイベントの様子は、さっぽろライラックまつり公式ウェブサイトをご覧ください。次回の会期は、令和8年5月20日(水)～31日(日)です。



札幌文団協
ホームページ



札幌文団協
Instagram



札幌文団協
X



札幌文団協
Facebook



札幌文団協
会員イベント情報
Event information archive

当会ホームページで、会員皆様の活動状況をお知らせしています。また、公式SNSも含め掲載依頼も随時受付しています。ご希望の方は事務局まで情報をお寄せください。

第47回文化交流パーティーさっぽろ
日時／令和8年1月12日(成人の日)
正午開始
会場／京王プラザホテル札幌



ご受賞おめでとうございます!

○令和7年度札幌市社会教育功労者表彰
 長谷 喜代次(善鳳)様(詩吟・東区)

**令和8年度
札幌文団協の事業予定**

4月9日	常任理事会 (札幌市教育文化会館・研修室304)
4月22日	役員会 (札幌市教育文化会館・研修室402)
5月12日	総会 (札幌市教育文化会館・研修室403)
5月20日～31日	2026さっぽろライラックまつり (第68回)(大通公園ほか)
7月上旬(予定)	札幌文団協フェスティバル実行委員会
8月7日～9日	第55回SAPPOROぶんだんきょう フェスティバル 展示/いけ花/お茶席部門、体験教室 (札幌文化芸術交流センター SCARTS 1階・2階)
8月14日～16日	第8回こどもアール・ブリュット 北海道みらい作品展(主管) (札幌文化芸術交流センターSCARTS 1階・モールAB/北海道文団協主催)
9月5日	第55回SAPPOROぶんだんきょう フェスティバル舞台部門 (札幌市教育文化会館・大ホール)
11月1日～3日	2026さっぽろ菊まつり(第64回) (チ・カ・ホほか)
11月	各区文団協会長・事務局長会議
令和9年1月11日	第48回文化交流パーティーさっぽろ

新役員ご紹介

今年度の総会で承認された
 新役員をご紹介します。

副会長・常任理事	山田 起雲(西区・書道)
副会長	小林 享司(清田区・詩吟)
監事	佐藤 芳行(川柳)

(令和7年5月8日付け)

新会員ご紹介

(令和6年12月～令和7年11月)

どうぞよろしくお願いいたします。

【団体会員】

*わくわく粘土クラブ(工芸)令和6年12月入会

*嘉門流 純樹の会(邦舞)令和7年2月入会

【個人会員】

*河崎 ゆかり(彫刻)令和7年6月入会

**令和8年度
各区文団協の主な活動予定(抜粋)**

※日程は変更になる場合があります。

【東 区】	東区民センター
6月28日	第39回邦舞まつり
9月16日～19日	第49回オータムフェスティバル
【北 区】	未定
【西 区】	ことにパトス
9月	西区文化フェスタ2026
【厚別区】	厚別区民センター
11月	第33回厚別ふれあいフェスティバル ～舞台部門と展示部門の集い
【清田区】	北野連合会館
7月	令和8年度文化芸能発表会
【中央区】	かでる2.7
5月16日～17日	第23回札幌市中央区文化団体協議会芸術祭
【南 区】	南区民センター
9月又は10月	第10回FESTIVAL
【豊平区】	豊平区民センター
時期未定	第10回芸術祭フェスティバル
【白石区】	白石区民センター
4月	第8回芸術祭フェスティバル
【手稲文化協会】	手稲区民センター
6月	チャリティ舞踊の集い
10月	手稲文化祭
11月	年忘れ演芸大会

あ と が き

これまでにない猛暑の夏と米騒動を青息吐息で乗り越えた今年も、気づけば白い雪の舞う歳の瀬です。秋には日本全国で街の中にも熊が出没し、ニュースやSNSで繰り返し各地の熊動画が流れました。札幌では円山動物園内に連日現れ、動物園と円山公園一帯が開園以来初めて全面封鎖される騒動もありました。何が起るか、予想もつかないこの頃ですね。私たち文団協も、時代に即した柔軟さを心がけて前進していきたいものです。